

憲法守らない菅政権にレッドカード

いのちとくらしを守る 希望の政治に転換を!

新型コロナウイルスの感染拡大が急速に広がり、「医療崩壊」が危ぶまれています。失業や廃業・倒産が相次ぎ、生活苦による自殺者が急増しています。「Go Toキャンペーン」にこだわり、コロナ対策に無為無策の菅首相。これ以上、政権を任せることはできません。今年は総選挙が行われる年です。強権政治は終わりにし、憲法をいかす政治にかえましょう。市民と野党の共闘による野党連合政権を実現するために力をあわせましょう。



社会
保障
減



軍拡よりも、いのち・医療・雇用・営業を守れ

菅内閣の2021年度政府予算案。軍事費は過去最高の5兆3235億円。憲法違反の「敵基地攻撃」を可能にする長距離ミサイルの開発や、陸上イージスよりも高額な洋上イージス(5000億円以上)の新たな建造で軍事費は青天井に。

一方で、社会保障費は1300億円の削減。持続化給付金や家賃支援給付金などの再給付も盛り込まず、医療機関への減収補てんも消費税減税もありません。75歳以上の医療費窓口2割負担の押しつけもとんでもありません。軍事費よりも、いのち、医療・雇用・営業に税金を使えの声を上げましょう。

国民投票法案成立させ改憲発議ねらう

昨年秋の臨時国会で国民投票法案が審議されましたが、市民と野党のたたかいで採決は阻止しました。菅自公政権や維新の会は、通常国会での国民投票法案の成立、そして改憲発議を狙っています。CM規制や最低投票率の定めがないなど法案の欠陥を放置したままでの採決は論外です。国民不在での改憲論議ではなく、今、必要なのはコロナ禍で苦しむ国民のいのちとくらしを守るため、憲法をいかす政治です。

憲法破壊、政治の私物化を許すな

日本学術会議会員の任命を拒否した理由も説明しない菅首相。学術会議への介入は憲法23条の学問の自由を侵害し、日本学術会議法にも違反しています。「桜を見る会」前夜祭での安倍前首相による費用補填をはじめ、河合夫妻の選挙買収事件や元農水大臣による大手鶏卵会社からの現金授受問題など、政治腐敗の隠蔽も許してはなりません。モリカケ問題も含めて真相を究明するためにも、市民と野党の共闘で政権交代を実現しましょう。

憲法共同センター(戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター)

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4F
TEL 03(5842)5611 FAX 03(5842)5620
<http://www.kyodo-center.jp/>